

科目名	造園概論							年度	2026
英語科目名	Introduction to landscaping							学期	前期
学科・学年	土木・造園科 1年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	鹿野陽子	教員の実務経験		有	実務経験の職種		造園設計		
<b>【科目の目的】</b> 自然と人間の関わりを理解し、美しく機能的なランドスケープの設計原理と技術を学ぶことで、環境と調和した空間創造を目指します。									
<b>【科目の概要】</b> 造園とは何か、造園の歴史、造園にかかわる基礎知識を学びます。									
<b>【到達目標】</b> 次の3点を到達目標とする。 ・造園とは何かを理解する ・造園が対象とするフィールドを理解する ・庭園史や各時代の庭園の特徴を理解し、庭園についての基本的な知識を身につける									
<b>【授業の注意点】</b> 授業中の私語や受講態度には厳しく対応する。提出物の期限は厳守すること。正当な理由のない遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は期末試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	造園が持続可能性や生態系にどのように貢献するかを分析し、例を挙げて説明できる。		造園の様々な技法とその影響を詳述できる。		造園の基本的な定義と目的を説明できる。				
到達目標 B	フィールドごとの造園設計における革新的アプローチを提案できる。		各フィールドにおける造園の特徴と課題を識別できる。		造園が取り組む基本的なフィールド（公共空間、住宅地等）を列挙できる。				
到達目標 C	歴史的および現代の庭園スタイルを比較分析し、その発展に影響を与えた要因を詳細に論じることができる。		庭園が文化や時代にどのように影響されたかを説明できる。		主要な歴史的庭園スタイルを識別し、基本的な特徴を説明できる。				
到達目標 D									
到達目標 E									
<b>【教科書】</b> 造園施工必携日本造園組合連合会									
<b>【参考資料】</b> 特になし									
<b>【成績の評価方法・評価基準】</b> 期末試験、小テスト、レポート、授業への参加度を総合的に評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		造園概論			年度	2026
英語表記		Introduction to landscaping			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	造園概論の紹介	造園とは何か、その目的と歴史的背景	1 造園定義	造園の基本概念理解	1	
			2 目的理解	造園の目的把握		
			3 歴史概観	歴史的背景認識		
2	基本的な造園技術	土壌管理、植栽計画、水管理	1 土壌管理	土壌改良技術	1	
			2 植栽基礎	植栽計画作成		
			3 水利用	水管理方法		
3	デザインの原則	美学、機能性、持続可能性	1 美学基礎	デザイン美学適用	1	
			2 機能重視	機能的デザイン理解		
			3 持続可能性	持続可能性評価		
4	公共空間の造園:	公園、遊び場、都市の緑化	1 公園設計	公共プロジェクト設計	1	
			2 遊び場計画	子供向け遊び場構想		
			3 緑化政策	都市緑化戦略		
5	プライベートガーデンのデザイン	住宅の庭園設計の考え方	1 住宅庭園	個人向けデザイン作成	1	
			2 個人需要	クライアントニーズ評価		
			3 プライバシー	プライバシー保護計画		
6	歴史的庭園スタイル (欧州)	古典的、ルネサンス、バロックの庭園	1 古典庭園	歴史的スタイル認識	1	
			2 ルネサンス庭園	時代別デザイン分析		
			3 バロック庭園	スタイル適用技術		
7	歴史的庭園スタイル (アジア)	日本庭園、中国庭園の特徴と技術	1 日本庭園	アジア庭園特徴習得	1	
			2 中国庭園	文化的影響評価		
			3 特徴理解	デザイン応用技術		
8	現代の庭園デザイン	モダンな造園技術とトレンド	1 モダン技法	最新デザイン技法	1	
			2 トレンド分析	トレンド予測能力		
			3 革新設計	革新的アプローチ開発		
9	環境と造園	持続可能な造園デザイン、生態系との調和	1 持続可能設計	環境配慮設計	1	
			2 生態系連携	生態系保全戦略		
			3 環境影響	環境影響評価技術		
10	ソフトスケープとハードスケープ	植栽計画と構造的要素	1 植栽計画	ソフトスケープ計画	1	
			2 構造設計	ハードスケープ設計		
			3 素材選択	素材選択能力		
11	庭園の維持管理	管理技術、問題解決、修復	1 管理技術	庭園保守管理	1	
			2 問題対応	問題解決手法		
			3 修復案	修復計画立案		
13	ランドスケープの評価と批評	プロジェクトの分析、評価基準の適用	1 プロジェクト分析	プロジェクト評価技法	1	
			2 評価基準	批評的思考能力		
			3 批評方法	効果的フィードバック		
13	造園における倫理と法規	環境倫理、法的規制とポリシー	1 環境倫理	倫理的判断力	1	
			2 法規遵守	法的要件理解		
			3 ポリシー理解	政策適用技術		
14	フィールドトリップ	実際の造園プロジェクトや歴史的庭園の視察	1 実地視察	実地観察能力	1	
			2 現場分析	現場からの学び		
			3 応用学習	応用デザイン思考		
15	総括とプロジェクトプレゼンテーション	学生によるデザインプロジェクトの発表と反省	1 プロジェクト発表	プレゼンテーション能力	1	
			2 反省会	セルフアセスメント		
			3 総評	批評受容技術		

評価方法：1. 小テスト、3. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等